

The Gate 入口

THE BUSINESS PHILOSOPHER 1922年11月号

Arthur Frederick Sheldon 田中毅 訳

広い道に通じる広い入口は、多くの人がある道を選ぶ破滅への道に繋がっています。広い入口と広い道は後ろ暗い利己主義への高速道路に繋がっているのです。

狭い入口から入りなさい。狭い入口や狭い道は、貴重なものを見出す人生に繋がっています。それは利他主義の生き様であり、奉仕への道は人生の道標となります。

100人のうち95人が多数派であり、少数派は5人です。

人生と言う名のフット・ボールの得点を知っていますか。知らなければ思い出してください。

その得点とは、54-36-4-1です。

病気のある人を除いて、25歳の人、100人を選びます。それぞれの生活を40年間営み、65歳に達します。その結果はどうでしょうか。56人は破産し、36人は若死にします。5人は一生懸命に働いているのに、一文無しか、失業状態です。

4人は慎重さを欠かさなければ、快適な暮らしをして貯金もできます。1人だけが大金持ちになります。56+35+5=95 4+1=5

25歳から40年後の誕生日に、95人が肉体的にも経済的にも死んだも同然であり、5人だけが、経済的にも成功して生き残ることができます。

何故でしょうか。基本的な理由を推測することができます。その理由は、利己主義という病に罹ったからです。この病は、基本的な事実に対する無知から生まれます。

人生に於ける、最も基本的で重要なことは、最も役に立つ生存の法則即ち、適者生存の法則です。人間は、本質として生き残ることを望んでいるので、自己保存の本能は最も重要な自然の法則なのです。今迄もそうであったし、現在も未来もそうなのです。

自然の法則に無知な人は、生き残るためには利己的でなければならないという誤りを信じています。生き延びるためには利他の心を持った最大限の奉仕をする必要があるのに、誤った信念を持った人は、自然の事実を変えようとはしません。

利己主義とは、まさに病気と同じであり、しかも悪質な病気です。文明の重要な部分を侵す癌のようなものです。この病気に侵される犠牲者は数多く、個人や団体、国を含んでいます。

最もよく知られている癌の治療法は、ラジウム照射であり、利己主義という癌の治療は真実の光を当てることです。人生に於ける最も簡単で最も素晴らしい事実を理解するための灯を灯さなければなりません。

5パーセントの人が通る、利他の精神という細くて狭い道に入るのが人生の正しい道であり95パーセントの人が入る自己保存と私利私欲に繋がる広々とした入口と道は、破滅に繋がる道なのです。

貴方と私は今日この街を立ち去るとしよう。私がこの記事を書いているペンシルバニア州ウイリアムSPORTから歩を進めて、平らな道を歩き始めます。この美しい町の近郊は広くて立派に舗装された道路が続いています。

やがて、木が鬱蒼と茂って、日陰になっている谷間の道に入ります。丘に続く細い道があらこちらに見えます。平らな道路に慣れてきた貴方と私はどの道を通ろうかと考えます。

左へ行けば広い舗装された道路があり、なだらかに下ったスロープには太陽を遮る木が植えられています。右に行けば狭い入口があり、細い道が丘に向かって続いています。でこぼこ道で、日陰になる木も生えていません。

私たちは、自らが快適な良い時間を過ごすことを望んでいるので、このような状況下では、どの道を選ぶかは、決まったも同然です。

私たちは、右に曲がるべきでしょうか、それとも、左に曲がるべきでしょうか。

当然のこととして、広い入口と広い道に繋がる左の道を選ぶのでしょうか、それとも狭い入口を通して細い道を選ぶのでしょうか。

こういう状況の下では、多分、私たちは左の道を選ぶでしょう。

しかし、左の広い道路は、死と自滅の谷に通じた道であり、右の小道は人生に於ける本当の幸福に繋がると言う事実について正確な知識を持っていれば、間違いなく右の道を選ぶでしょう。

平坦な道路は、個人的な自由と責任を委ねられた幼年時代の旅に例えることができます。時間の許す限り楽しみたいと考えます。人間がこの世に存在する最大の理由は幸福の追求ですが、我々には一時的な幸福と永遠の幸福を区別することはできません。

肉体的な感覚、快楽的な感覚の満足感を得ることが幸福への道のようにさえ思われます。素晴らしい人生を送るためには利己的な方が良いでしょう。

他の人は皆そうしているから、それが正しい方法に違いないと思って、多くの人は左に曲がります。

このようにして、多数派に従い易い私たちは、地獄への道を歩むのです。

右の道はでこぼこの砂利道で、太陽が照り付けます。しかも上り坂です。しかし登りつめると、やがて、高い丘の頂に達します。成功と言う町に達し、成功と言う目標に達したのです。あらゆる価値を秘めた発展を実現させる出発点に繋がるのです。

最初は幾らか困難な旅ではあるものの、終わりは至って簡単です。そして、ここは重要な人生の終点でもあるのです。出発点の困難さえ乗り越えれば後は簡単なものです。

利己と放縦と自己満足に満ちた広い入口と広い道は、邪悪な連鎖をもたらす病気への道に繋がります。

他人に対する奉仕への道を究める活動は、健全な身体と心と精神を強靱なものにします。

僅か1オンスの努力で、より多くの内容を持った永久的な幸福感を味わうのか、一時的な楽しみを得るために1トンを経費やすのか、人は自由に選ぶことができるのです。

左手の道を選べば、完全な自由が得られるかも知れませんが、しかし、真の人生のレースからは外れることを意味します。

その一方で自由に右の道を選ぶこともできます。それは文字通り正しい道なのです。

他人への奉仕の道を追求する人は、自分自身に対しても正しいことをしているのです。それは、彼が奉仕した全てのものは、正しく彼の下に還元されてくるからです。

他の仲間に対する奉仕や利他の心は、これに関連するすべての人に平和と豊かさと活力を与えます。

この文章を読んだ人は、利己主義の広い道を通して死の谷に向かい、恐怖と欺瞞に恐れおののくことはないはずで

周りを見渡してください。決して遅すぎることはありません。正しく方向転換をしてください。後ろ振り返ってはなりません。貴方は正しい方向に向かって道を歩んでいるのです。

今こそ前進あるのみ。仲間に対して奉仕をする道であり、創造の道でもあるのです。

貴方が利己主義や自己満足に背を向けた時に、人の役に立つ道を見つけそれを思い出します。そこには、もはやひ弱な感情などはありません。

他の人に奉仕することによって、自分自身に対しても奉仕をしているのです。

人間は良い行いをするによって成功します。

2000年前の預言者は、この事実を老若男女にはっきり説いています。

イエスはユダヤ人であったので、事業に精通した信念を持っていました。

貴方が成功という目標を望むのなら、無私無欲という無我の境地に繋がる入口に入るべきです。